

### 基本情報



【年齢】  
59歳  
【出身地】  
長野県 飯田市  
【転出元】  
長野県 飯田市  
【前職】  
飯田市役所 職員  
【活動時期】  
R3.4～  
(2年目)

### 協力隊に応募したきっかけ

地球温暖化防止や自然環境保全の活動をライフワークとする中で、日本の森林にて持続可能な活用をしていくことが急務と認識し、木のおもちゃ(けん玉など)や地域産材の利用(住宅建築・増改築等)を促し普及してきました。

東京おもちゃ美術館にておもちゃ学芸員として活動に関わった際、木曾町に「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が開設すると知り、木曾においても活動したいと思って通っていたところ、美術館の開設など担う地域おこし協力隊の募集があったので応募しました。

### 今後の抱負・任期後の目標

2022年11月19日オープン「ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館」が問題なくスタートできること、指定管理者(NPO法人)の運営が順調にいくこと、来館者が増えることが大事で、そのために必要なことをサポートします。

任期後の立場は不透明で、美術館の指定管理者が自分を必要な人材とするか否かにより分かります。必要とされた場合は勤務条件を確認して就業しますが、必要なくなれば、別の仕事に就きながら、おもちゃ学芸員というボランティア活動を継続して美術館を支援していきます。

### 活動内容

#### ●ふるさと体験 木曾おもちゃ美術館、開設と企画運営

木育と木曾の伝統文化を体験で伝える木曾おもちゃ美術館。そのボランティアスタッフ「おもちゃ学芸員」の養成講座を昨年から5回開催し計103名が登録になりました。10月9日の出発式にて赤エプロンが授与されいよいよオープンします。四季折々の催事とおもちゃを組み合わせる運営を展開します。



#### ●木育人材の育成・連携に関する業務

おもちゃコンサルタントやけん玉講師として「おもちゃの広場」を開催し、主に子供たちを対象に木育を推進するとともに、地球規模の自然環境保全を普及啓発しています。環境保全と地域経済が好循環になる仕組みも模索しながら、木に関わる人々を増やしていく必要性を啓発しています。



#### ●定住及び交流の促進に関する活動、企画、イベント

自宅を「サードプレイス・ゲストルーム ペチカんず木曾」として令和3年7月から運営しています。青少年の情報交差「店」という位置づけですが、親子連れや一般の方も利用されます。

令和4年10月から「信州こどもカフェ」いわゆる子ども食堂を週1回開催していきます。



### 連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(インスタグラム) <https://www.instagram.com/stories/pechikanz.kiso/>  
(フェイスブック) <https://www.facebook.com/michinori.ikedo/>